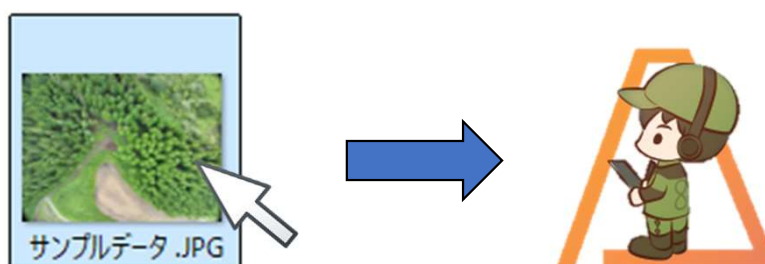


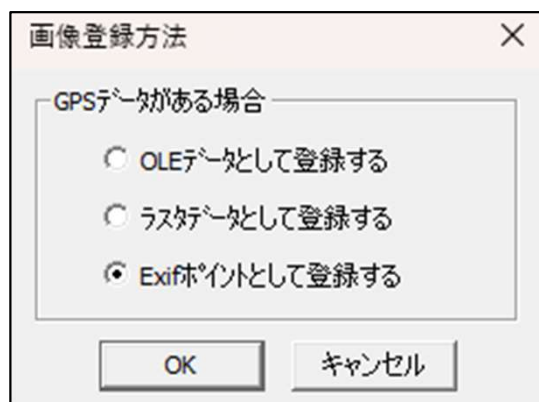
Assist8 画像登録機能 について

<新機能の概要>

GPS情報を持っている画像データの場合、**ドラッグアンドドロップ**で Assist8に直接データを取り込むことができるようになりました。



Assist8でファイルを立ち上げて対象ファイルをドラッグアンドドロップする。



画像登録方法のパネルが表示されます。

OLEデータ、ラスターデータ、Exifポイントの3つから選択が可能です。



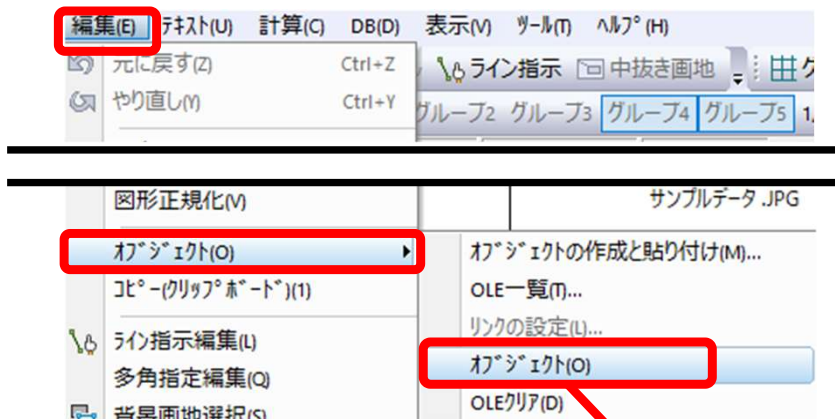
この機能を使って取り込んだ画像は背景地図としては使用できません。

【OLEデータとして登録】

OLEデータとして取り込んだ場合、ファイルはアイコンで表示されます。
アイコンをタップした状態で[編集]→[オブジェクト]→[オブジェクト]
で画像を確認することができます。
取り込み後は画像を任意の場所へ移動することができます。

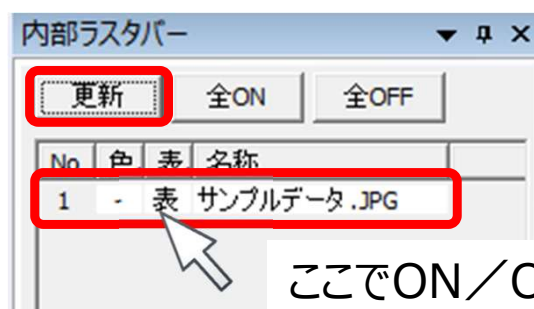


アイコンをタップした状態で



【ラスタデータとして登録】

ラスタデータとして取り込んだ場合、内部ラスタとして取り込まれます。
内部ラスタなので、画像が表示された状態で取り込まれます。
内部ラスタバーの[更新]をクリックして、画像情報を表示させることで
画像のON／OFFの切り替えができます。



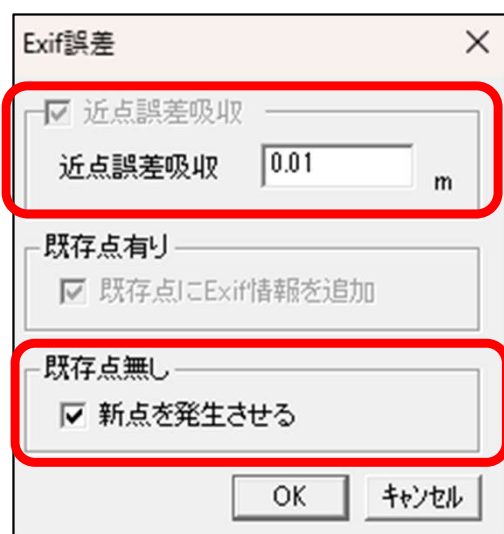
ここでON／OFFの
切り替えができる。



ここで取り込まれるラスタデータは補正がかからないので
通常のラスタとは異なり、背景地図としては利用できません。
あくまで画像データとしてご使用下さい。

【Exifポイントとして登録】

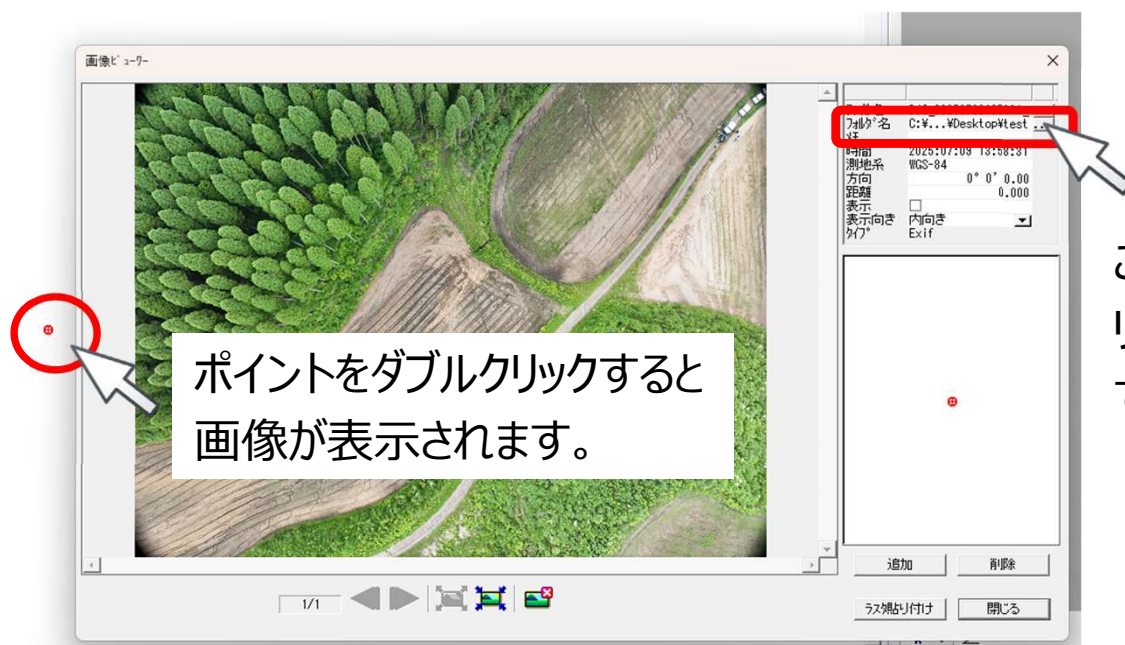
Exifポイントとして取り込んだ場合、ポイントデータに画像がリンクされます。新たにポイントが発生させる場合は[既存点無し]→[新点を発生させる]にチェックを入れます。既存のポイントにリンクさせる場合は前記のチェックを外し、[近点誤差吸収]の距離を指定します。



The dialog box titled 'Exif誤差' (Exif Error) has two main sections. The top section, '近点誤差吸収' (Near-point error absorption), is highlighted with a red box and contains a checked checkbox and a text field with '0.01 m'. The bottom section, '既存点無し' (No existing point), is also highlighted with a red box and contains a checked checkbox '新点を発生させる' (Generate new point). There are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom.

既存のポイントがある場合

新たにポイントが発生させる場合



ここから
リンク先の変更が
できます。



Exifデータはファイルを移動すると画像が表示されなくなるので、ファイルのリンク先を変更する必要があります。